エコワンポイント

大雨でも安全な視界を確保！「ワイパー」のチェック

　夏の夕方は、局地的な豪雨が特に起こりやすい季節です。豪雨の際、最も危険なのは「前が見えない」ことです。ワイパーゴムは紫外線や気温の変化で劣化します。古くなったゴムはガラスを傷つけるだけでなく、モーターに負荷をかけ無駄な電力を消費します。年に１回を目安に交換し、ガラスの撥水コーティングも併用すれば、ゴムの寿命が延びて資源の節約に繋がります。

交換のサイン（目安）

①拭き残しが出る　→ゴムに傷や欠けがあると、そこに水が残りスジ状の線が出ます。
②水がにじむ・白く残る　→ゴムが硬化してガラス面に密着しなくなることで発生します。
③ビビリ音（ガタガタ・ギギーッという異音）　→摩擦抵抗が増え、ゴムがスムーズに動かなくなっています。
④拭きムラ　→一部だけ水滴が残るなど、均一に拭き取れなくなっています。

もし豪雨でクルマが冠水してしまったら…**絶対にエンジンをかけないでくださいね！**
エンジン故障（全損など）による「車の廃棄処分（環境負荷）」を防ぐためにも、ぜひ覚えておいてください。

局地的な大雨や道路の冠水に気を付けて
夏を楽しんでくださいね♪点検もぜひご相談ください。

ISO14001認証取得
エアeショップ21
ピットサークル燕店 ＣＭＣ中越モータース株式会社